

22 メコン河流域における農業生産基盤強化推進事業

【令和7年度予算概算決定額 39（36）百万円】

<対策のポイント>

メコン河委員会（MRC）を通じて、これまで我が国が東南アジア諸国で実施してきたかんがい分野における取組を活かし、メコン河流域国に対し技術的支援を行います。また、メコン河流域国のタンパク源確保のため、魚道整備に関し、他ドナー国との国際協調案件として、我が国の知見を活かした支援を行います。

<事業目標>

アジアモンスーン地域の持続的な食料システムのモデル構築（4地区以上のプロジェクトを実施〔令和7年度まで〕）

<事業の内容>

2020年11月の第12回日・メコン地域諸国首脳会議にて採択された「共同声明」において、メコン河委員会との連携の必要性が強調されています。

また、これまで我が国は東南アジア諸国に対し、かんがい技術に関するガイドラインの策定及び人材育成を実施してきており、それら成果について、メコン河流域国に普及させるため、当該機関に専門家を派遣し、下記の取組を行います。

- ① 我が国が、東南アジア諸国での導入について調査検討してきた技術（ほ場整備、TM/TC（遠方制御監視装置）、施設長寿命化、ICT（情報通信技術）を活用した水管理、参加型水管理、地下かんがい等）に関し、メコン河流域国が相互に抱える課題解決のために活用可能な「技術マニュアル」を取りまとめます。
- ② 我が国が、東南アジア諸国で育成した技術者とともに、「技術マニュアル」の適用性調査・普及のため、各国で地域単位及び全国規模のワークショップを開催し、我が国の支援の成果を普及させます。
- ③ これまでにMRCによって作成された魚道整備ガイドラインに基づき、米国内務省（USDOI）及びオーストラリア国際農業研究センター（ACIAR）と連携し、新たな魚道整備の優先箇所調査を行うとともに、同ガイドラインの理解醸成のためのワークショップを行い、それを通じて人材育成を行います。

<事業の流れ>

事業実施期間：令和3年度～令和7年度



【お問い合わせ先】（1）輸出・国際局新興地域グループ（03-3502-5913）
（2）農村振興局設計課海外土地改良技術室（03-3595-6339）

<事業イメージ>

これまで東南アジア諸国で実施してきた取組を活かした支援

<これまで我が国が東南アジア諸国で実施してきたかんがいに関する取組>

プロジェクトを通じて実証・策定した技術マニュアル

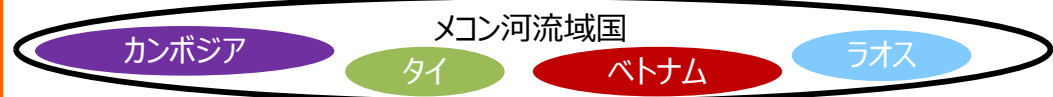
- ・参加型水管理
- ・ほ場整備
- ・施設の長寿命化
- ・テレメータ・テレコントロールシステム
- ・地下かんがい
- ・ICTを活用した水管理（水管理省力化）
- ・間断かんがい etc.

人材育成（キャパシティビルディング）

MRCガイドンス

マニュアルの取りまとめ

我が国の支援の成果普及



魚道整備に関する支援

前歴事業で策定された魚道整備ガイドラインを活用し、新たな魚道整備のための優先箇所調査を行います。また、同ガイドラインの理解醸成のためのワークショップを行い、それを通じた人材育成を行います。



魚道整備ガイドライン



ワークショップ